



看護ふれあいフェスタ

2015

平成27年9月26日(土)13:30~



小中学生、高校生、教職者、保護者、社会人の方々に、多くの若者が看護職を目指してくれる事を期待して、看護職の魅力や看護の新たなイメージを発信しようと佐賀県と看護協会が開催いたしました。

白衣ファッションショーや看護体験発表、ビデオ上映、看護体験、看護師・看護学生とのふれあい、看護学校紹介・進路相談、白衣試着・記念撮影会など多彩な催し物を行い盛会でした。



一人でも多くの人が看護師に

小島病院（伊万里市） 榊 真佐子

看護職について40年近くになります。辛かったこと、嬉しかったこと、たくさんのエピソードがあります。その中の一つを紹介したいと思います。

私がまだ20歳代の頃、看護師として少し仕事も覚えて頑張っているとき、中学生が学校の心臓健診で二次健診を受けるように言われたと、母親と一緒に受診されました。心臓検診と言われ二人ともとても不安そうでした。採血、心電図など検査を受け、結果は異常なしということで安心して帰宅されました。

それから数年たって看護学生として入職してきた人が、「私、中学生の時、この病院に検査を受けに来たんです。心配でたまらなかった私に優しく声をかけてくれ、不安なく検査が受けられるように説明、案内をしてくれました。中学校を卒業して進路を決めるとき、看護師になろう、あの人のような看護師になりたいと思ったんです。これからが勉強ですが頑張ります。よろしくお願いします。」驚きました。私はすっかり忘れていましたし、今考えても、何をどうしたのか思い出せません。

その人は看護学校を卒業し、一生懸命頑張っています。中堅看護師として新人教育にも力をいれています。またこの看護師の姿を見て看護師になりたいと思ってくれる人がでてきてくれればいいなと思っています。

看護師は人の命を預かる仕事です。知識、技術はもちろん必要です。知識がないと患者さんを見ることができません。技術がなければ患者さんを不安にしてしまいます。しかし、患者さんに少しでも不安を与えないように、少しでも苦痛を取り除いてあげよう、家族の思いを感じ患者さんと同じように看護しようという気持ちがあれば、知識、技術は自然と身についてきます。医療の進歩に伴い手術支援ロボットや介護ロボットなど、看護や介護を援助してくれる機器も増えてきています。しかし、看護にも介護にも一番必要なのは“こころ”なのではないかと思います。“心”あたたかいこころは人間だけにしかないのでです。

一時期は辞めたいと思った時もありましたが、今は看護師を続けていて良かったと思っています。あと数か月で長年着ていた白衣を脱ぐ日がやってきます。緊張の日々から解放される喜び？…以上に寂しい気持ちがあります。

一人でも多くの人が看護師を目指してくれることを祈ります。

忘れられない看護エピソード

彼岸花からのメッセージ

佐賀県訪問看護ステーション 緒方 貴子

毎年、9月のお彼岸が近づくと我が家小さな花壇の隅にクリーム色の彼岸花が咲き、私は必ずNさんを思い出します。

看護師になって2年目に、すい臓がんの末期で入院してきた80歳女性のNさんと出会いました。Nさんは、多くを語らず、部屋のカーテンを引いたままです。そのようなNさんに、私は何度も何度もベッドサイドに行っては入浴や清拭を促しますが断られます。また、腹痛があるのに鎮痛剤も飲んではくれません。話しかけようすると背中を向けてします。衰弱して行くNさんに「どうしたら楽になるのだろうか」とずっと考えていました。

ある早朝、採血をするためにNさんのベッドを訪れる。「私はもう先が長くないのにこのままでは死なれんよ。家の片付けをしたら帰つて来るから、先生に外泊したいと言つてくれんね」と私の手を握り、つぶやくように話されました。私の心を見通すようなNさんの眼差しと、爪が大きしなしわしわの手、死が近いと話された内容に私の体は緊張し固まりました。やつとの思いで「先生には言ってみるよ。私もNさんのことが気になるから、痛み止めは飲んでくれる？」耳元で震えながらかかれたようにささやく私の話に、静かに頷くNさんを見つめ、数秒の沈黙が暖かく感じられました。

1泊2日の外泊を終えてNさんは娘さんと一緒に帰つてこられ、手には新聞紙に包まれたものを持っています。「風呂には入ってきたし薬飲んで体が楽になったよ。珍しい彼岸花を持ってきた。あんたにやろうと思ってね。」

外泊を希望する一日前のNさんとは思えないほど、目じりに皺を寄せ表情が豊かです。娘さんと一緒に笑っています。「もう先が長くないと言つたとき、何も言わずにだまつとつたあんたにびっくりしたけど嬉しかったよ。馬には乗つてみなさい。人には添つてみなさい。いろんな人がいるけどその人のことをわかつうと思ったら、見ただけで判断せず自分の心を開き寄り添うことだね。私はあんたがいる時に故郷に帰りたい。」と話してくれました。

外泊してから3週間後、私が夜勤の時、娘さんに見守られてNさんは故郷に帰られました。あれから30数年、今年もクリーム色の彼岸花は咲きました。「人を敬い、人を愛しむ」Nさんが教えてくれた、私の看護の原点です。

Nさん ありがとう。



参加者のアンケート結果



模様をフォトで紹介しま～す



看護体験発表 高校生



看護体験発表では、「今迄自分が考えていた看護師とは少し違った。大変なことばかりだと思っていたが、自分自身が患者さんと向き合い患者さんの気持ちを考えることが重要だと感じた。」「看護関係の仕事につきたいと、より一層思った。」など、看護職の魅力を伝えることができ、関心が高まったようでした。

また、進路相談では「話が聞け、丁寧に受け答えして頂き分かりやすかった。」「子供の進路選択の良い機会になりました。」などの声が聞かれました。

白衣ファッションショー
最後にご出場頂いた皆さん、勢揃いで！白衣試着
&
撮影会未来のナイシングールたち
かわいか～ ネエ！
私たちも む・か・し は……

進路相談&看護学生とのふれあい



東部地区だより



健康フェア（老人看護月間）

平成27年9月19日(土)

吉野ヶ里温泉 卑弥呼の湯において、血圧測定、健康相談、骨粗鬆症、生活習慣病のパンフレットの配布を実施しました。看護協会の旗や上着にてアピールした事で気軽に参加して頂けた。血圧測定や健康相談などで33名の参加がありました。血圧コントロール等健康管理についてお話しすることができ、健康意識の向上に繋げることができました。

研修会

平成27年11月14日(土)

『看護の現場で活用できるメディカルアロマテラピー』

講師 メディカルアロマテラピーICAA会長日本アロマセラピー 学会認定看護師 岩橋 知美 氏

東部地区看護協会特別講会が、みやき町中原庁舎で行われました。今年も、昨年好評だった先生をお呼びして、看護の現場でも活用できるアロマテラピーについて研修しました。15施設36名の参加がありました。基礎知識や注意点、それぞれのアロマの特徴等を学習しながら香りを楽しみ、後半は、ペアを組んでオイルマッサージを体験しました。日々ストレスを感じて頑張って仕事をされている会員の皆様に、ほんのひと時ですが「素敵なお香りとともに癒しの時間」を提供できたのではないかと思います。

講演が終わってからも、しばらく先生を囲んで人の輪ができていきました。

★★★ 参加者からの感想 ★★★

- 前回も参加させていただき、今回も参加出来良かった。
アロマの奥深さを知ることが出来てよかったです。
- スタッフのリラクゼーションのためにアロマをしてみたいと思いました。実技をすることで良く分かりました。
- タッチングの気持ち良さを体験し、その大切さ(有効性)を感じる事ができました。ありがとうございました。
- 患者様と接触する事はあっても、タッチングは少なくなっているように思う。心と心をつなぐいいチャンスであるし精神的な看護にもつながるように、少しでも手を差しのべていきたいと思いました。





西部地区だより

進路相談会

平成27年7月16日(木)
鹿島高校 32名・白石高校 28名

講 師：岩本 利恵 先生

テーマ 『看護の仕事、看護師になるための道筋』

年々、看護系進路相談に参加する生徒は増加の傾向にあります。高校の先生にお話を聞くと看護大学や看護学部に進学する生徒も増えているようです。生徒からの質問も「専門看護師になるにはどうしたらいいですか?」等、具体的な質問がありキャリアアップを目指したい生徒もいて、進路相談の意義を感じました。

「老人月間」 健康相談

日 時：平成27年9月18日(金)

13:30～15:30

場 所：鹿島市祐徳温泉

参加者：17名(男性9名 女性8名)



参加者は主に60歳～70歳の方で、高血圧・糖尿病・心疾患などの内科疾患のある方が多く、病気に対する自覚や認識が高いと感じました。

血圧測定、BMI測定、健康相談を行い看護協会のアピールもできました。

都道府県看護協会地区支部等における看護職連携構築モデル事業

平成27年11月25日(水) 19:00～21:00 参加者 126名

今回、西部地区支部はモデル事業の一環として看護職者・福祉職者など多職種が集まり、感染予防という共通のテーマのもとに講演、シンポジウムを開催しました。岩谷先生の体験を交えた感染予防の講演の後に、シンポジストよりそれぞれの立場から感染予防の取り組みを発表していただきました。

会場からも質問があるなど、今回は特に保育所を含めた多職種間の情報交換の場となり、とても活発な意見交換ができ有意義な研修会となりました。

講師：嬉野医療センター感染管理認定看護師
岩谷 佳代子 氏
シンポジスト：鶴丸 征枝 氏(看護師)
介護老人保健施設シルバーケア佐賀
黒田富士子 氏(看護師)
NPO法人地域共生ホーム まごころ
公文あゆみ 氏(保育士)
社会福祉法人光の園
廣重 有美 氏(保健師)
杵藤保健福祉事務所





中部地区だより

「老人看護月間」事業 健康相談

日 時：平成27年10月10日(土)

13:00～16:00

場 所：イオン大和店1階 くまざわ書店前広場

内 容：血圧測定・体脂肪測定・栄養相談・健康相談

参加者：67名

3連休の初日だったからなのか、ショッピングセンターに訪れる人は昨年より少なく“老人看護月間”としての看護のアピールができるか不安でしたが、終わってみれば、何のその、満足のいく密度の濃い健康相談になっていました。

ひとつには、一人ひとりの参加者にゆっくり関わること、もう一つは、管理栄養士の参加で、相談者の期待に応えられる栄養相談ができたことがあげられます。栄養相談は待ち時間が出るほどの関心の高さでした。他には、昨年の反省を生かし、キッズ用のスペースを作ったことで大人が相談をしている間、子供達だけで過ごすことができる場所を作ったことです。これは、大人でも子供でも参加出来る健康相談が出来たという点で好評だったと思います。



管理栄養士による栄養相談



キッズコーナー

中部地区研修会 予定

テーマ：「地域包括ケアシステムにおける
在宅医療」

～地域で安心して暮らすため～

日 時：平成28年1月23日(土)14:00～16:00

場 所：佐賀県看護研修会館

講 師：ひらまつ在宅療養支援診療所

鐘ヶ江 寿美子 先生